



やまなし

第86号 2014年7月30日(年3回発行)

もくじ

1p	新年度の挨拶	8p	タイの作業療法について
2p	平成26年度 役員挨拶	10p	Welcome New Face
6p	山梨県リハビリテーション 専門職合同学会 案内	11p	理事会だより
7p	倫理委員会 コラム	13p	各種申請書変更のお知らせ・広告 ・編集後記

新年度の挨拶

一般社団法人 山梨県作業療法士会
会長 山本 伸一

平成26年度が始まりました。一社)山梨県作業療法士会の会員は、約500名。今年度から新卒として、または山梨県で働き始めた方も含めて、会員の皆様にはそれぞれの職場でご活躍されていることでしょう。対象者の幅が広い範囲を持つ作業療法。私たちの支援は、チームとして発揮されており、リハビリテーションでは欠かせない職種であります。



今年度は、一社)山梨県作業療法士会の役員改選の年でした。議案書等で周知してありますが、新人理事も含めて既に活動を始めております。また、各局の部員・委員も大勢の会員に参画していただいております。深く深く、感謝申し上げます。皆様のご尽力は計り知れません。作業療法士会・作業療法士の発展を共に進めてまいりましょう。

組織図も再編いたしました。従来各局・部・委員会はもちろん重要です。加えて、時代と共にそれに対応した窓口や委員会等を立ち上げる必要があるでしょう。先だっては、山梨県訪問リハビリテーション協議会設立と同時に訪問リハビリテーション委員会、そして特別支援教育委員会を常設いたしました。今年度は、認知症対策推進委員会・生活行為向上マネジメント推進委員会を常設。特設委員会として、地域支援事業等推進委員会を立ち上げました。これは、山梨県理学療法士会・言語聴覚士会も同様の委員会を立ち上げることとし、3士会で協力・連携して進めてまいります。これからの介護保険事業等へ対応した国づくり・県づくりが必要であります。会員の皆様のご協力のもと、合わせた「力」で未来を創りましょう。変わらないはずの作業療法の「核」。その根幹に新しい概念・手法が継ぎ足されていきます。それが、進化のある「未来」。

一般社団法人山梨県作業療法士会は公益的な活動をさらに推進いたします。県民の皆様の医療・介護・福祉・教育等の連携向上を踏まえた健康増進への寄与、そして社会的地位の拡大は今後の大きな課題です。各理事、そして会員と一丸となって邁進する所存でございます。

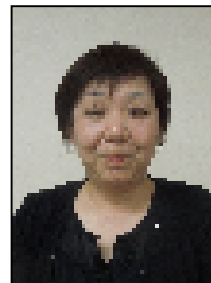
宜しく願いいたします。

「未来を創ろう」

平成 26 年度 役員挨拶

副会長 広田 真由美

前期に引き続きまして、今期も副会長を務めさせていただくことになりました。都道府県作業療法連絡協議会南関東支部長と合わせまして、精一杯務めさせていただきます。士会活動といたしましては、会長のサポートを基盤としながら、作業療法の職域拡大を中心に尽力したいと思っております。微力ではございますが、今後ともよろしく願いいたします。



副会長 古屋 豊美



私たち作業療法士が働くフィールドは、年々変化を遂げております。対象者のニーズ、国の施策、自治体からの期待。変遷する時代の中でも、地域社会に現場の作業療法士を牽引する県士会を、会員の皆様とともに作っていきたく考えます。

今後とも、県士会活動にご意見・ご協力を賜りたくよろしく願いいたします。

学術局生涯教育部担当理事 有泉 宏紀

生涯教育部を担当しています市立甲府病院に勤務している有泉宏紀です。生涯教育部は基礎研修を企画し開催しています。部員ともども会員の皆様が研修会を楽しんで参加できるように頑張っています。研修会で顔を合わせることがありますので、聞きたい事や困ったことがあれば気軽に声を掛けてください。認定作業療法士、専門作業療法士を目指しましょう。



臨時委員会・特設委員会担当理事 磯野 弘司



災害対策準備委員会は今年度 3 士会合同の委員会として、関係機関との連携を図っていきたく考えています。地域支援事業等委員会におきましても 3 士会連携の中で活動を準備していく予定です。地域リハビリテーション委員会は市民フォーラムの開催など公益・共益活動を推進し、地域貢献の一端を担っていただける次世代の会員育成を行っていきます。

広報局担当理事 工藤 亮

広報局を担当しております、山梨リハビリテーション病院の工藤亮と申します。広報局は企画編集部とホームページ管理部より構成され、作業療法士会ニュースの発行（年3回）や県士会ホームページの管理・運営等を行っております。積極的な広報活動を通し、他関連団体との連携や会員の皆様への情報提供に努めていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



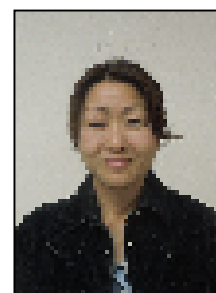
学術局企画研修部担当理事 佐尾 健太郎



山梨リハビリテーション病院の佐尾です。今年度より企画研修部の担当理事を務めさせていただきます。企画研修部では県内外から講師をお招きし、年間数回の研修会を企画・運営しています。今後も協会や関連団体の動向を注視しつつ、現場からのニーズにも応えられるような企画を練って参ります。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

常設委員会(福祉用具委員会・特別支援教育委員会)担当理事 関谷 宏美

地域リハの推進が求められています。リハで地域に根ざすためには、教育啓発活動や住民主体の動きを巻き起こす土壌作りが必要です。そのために私達には、職場から一歩踏み出したプロボノ精神での活動が求められています。山梨県作業療法士会が地域で求められる価値ある団体になるように、福祉用具委員会、特別支援教育委員会を通して、微力ながら尽力したいと思っております。



制度対策局担当理事 長坂真由美



引き続き、制度対策局を担当させていただきます。県士会HPにほぼ毎週、医療・介護・福祉に関わるニュースを掲載させていただいており、OTを取り巻く社会情勢の理解を深める一助となればと考えております。これからも、各部長とともに、県士会会員の皆様に役立つ医療・介護・保健福祉の情報提供に努めてまいります。

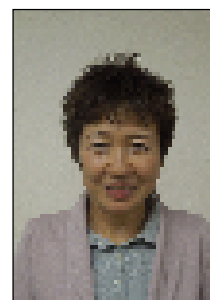
社会局渉外部担当理事 濱田 一登志

社会局渉外部担当理事をさせていただきます、山梨赤十字病院の濱田一登志です。社会局渉外部では、山梨県主催の介護職場人材育成研修（自立支援リーダー研修会）事業プログラムへの講師派遣等を行っております。今後も介護とリハビリの連携を深め、利用者の方々に満足して頂ける介護・医療技術の充実を目指して行きたいと思っております。よろしくお願い致します。



常設委員会 (倫理委員会・認知症対策推進委員会)担当理事 松田 智子

「認知症の方とどう関わって行けばいいのか？地域の中で何か出来ないか？」と沢山の方が悩まれている事と思います。『認知症になっても安心して生活できる地域づくり』にOTが社会貢献できるような仕組み作りに取り組んで行きます。倫理部員さんには、問題を真摯に受けとめ討論することが大切だと教えられました。研修会等で一緒に学んで行きたいです。



事務局担当理事 三瀬 和彦



事務局担当理事として7年間、これまでの活動の中で、会長をはじめ他の理事、各部長・委員長、会員の皆様、関連団体の方々と接する機会を持って、出会いと繋がりの重要性を感じました。引き続き、微力ではございますが、事務局担当理事として、出会いと繋がりを大事に、より良い組織運営を心掛け、邁進していく所存でございます。皆様、どうぞ、宜しく願致します。

学術局学術大会担当理事 宮尾 亮

巨摩協立病院に勤務している宮尾 亮です。1年目から学術大会の運営に携わらせていただきました。学術大会では他の病院・施設の先輩・仲間と出会いと共に頑張ったことがとてもよい経験となっています。ぜひ皆様とよりよい作業療法の学びと発信の場になるような学術大会をつくり、県士会・作業療法を盛り上げていきたいと思っております。よろしく願致します。



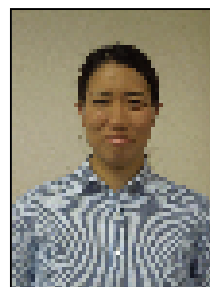
常設委員会(訪問リハビリテーション委員会・生活行為向上マネジメント推進委員会)担当理事 米山 敦



2つの常設委員会を担当することになりました米山敦です。国が目指す地域包括ケアシステムの体制づくりを進めるうえで、どちらも作業療法士にとって発展・推進していかなければならない重要な分野であると思われれます。会員の皆様方に情報が提供できるように取り組んでいきたいと思ひます。ぜひともご参加とご協力をよろしく願致します。

社会局事業部担当理事 渡邊 直美

社会局事業部を担当させて頂く竜王リハビリテーション病院の渡邊 直美です。事業部の活動はいきいき山梨ねりんピックや障害者文化展・機能訓練事業・地域リハビリテーション従事者研修会があります。地域住民の方との触れ合いの中で皆様が楽しく作業療法活動が展開できるよう、努めていきます。共に学び共に楽しんでいけたらと思ひます。宜しく願致します。



監事 川崎 加代

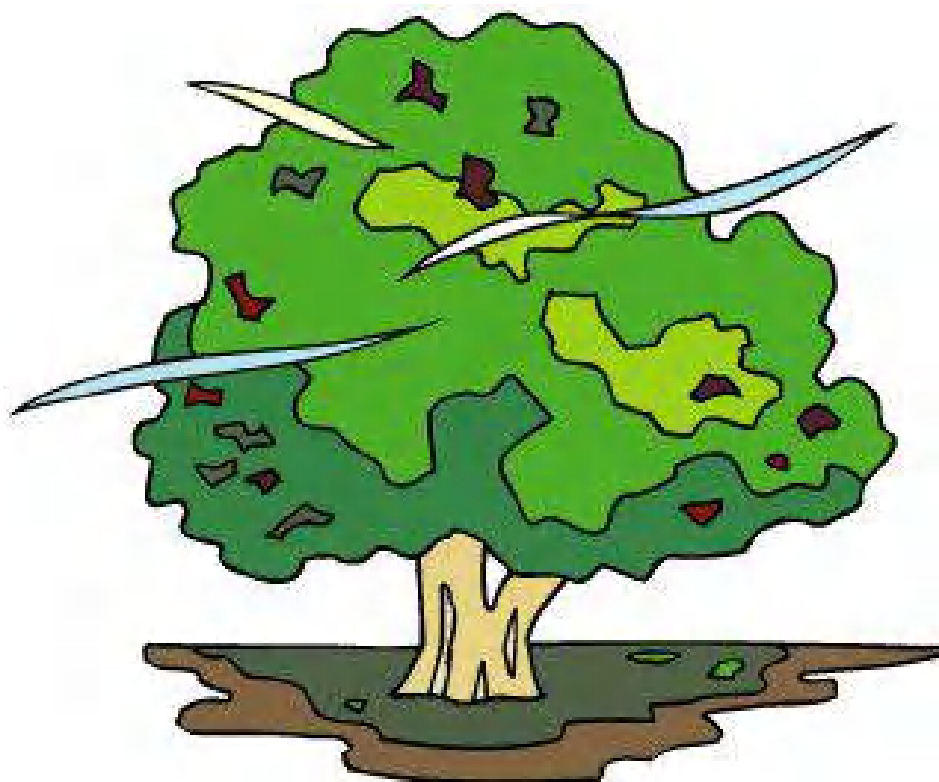
監事の川崎です。会員の皆様方の声が県士会活動に反映されるよう、又、法人として社会貢献できるようにと考えております。更に、理事会運営が円滑且つ公正に行われるように、見守っていきたいと思います。会員相互の活発な交流を期待しています。宜しく、お願い致します。



監事 佐藤 真一



今年度から監事を拝命いたしました健康科学大学の佐藤真一と申します。山梨県作業療法士会が社団法人に移行できたことは成熟した組織として認められたことでもあります。その組織のなかで会員の皆様と執行部との橋渡し役を務めさせていただきます。この職能集団がより社会的に機能するために皆様のご協力と積極的な参加と発言をお待ちしております。



第1回 山梨県リハビリテーション専門職合同学会のご案内

- 1 会 期：平成26年12月6日(土)13時~18時(予定)18時30分~
平成26年12月7日(日)9時~15時(予定)
- 2 会 場：<学術大会>桃源文化会館
〒400-0222 山梨県南アルプス市飯野2971 TEL:055-284-3411
- 3 大会長：山本 伸一(一般社団法人 山梨県作業療法士会 会長)
- 4 テーマ：「飛躍 ~やまなしのこれからのリハビリテーション~」
- 5 プログラム：大会長講演、シンポジウム、教育講座、一般演題
- 6 申し込み方法：各士会 HP 及び開催案内同封の FAX 用紙から
PT 士会 HP <http://ypta.jp/>
OT 士会 HP <http://ot-yamanashi.org/>
ST 士会 HP <http://st-yamanashi.jp/>
*参加申し込み受付期間は2014年9月1日~2014年11月7日となります。
- 7 対 象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、関係職種、学生、その他
- 8 主 催：一般社団法人 山梨県作業療法士会 一般社団法人 山梨県理学療法士会
一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

<連絡先>

医療法人 慈光会 甲府城南病院 作業療法室内

第1回山梨県リハビリテーション専門職合同学会 事務局 三瀬和彦

〒400-0831 山梨県甲府市上町753-1 TEL:055-241-5833

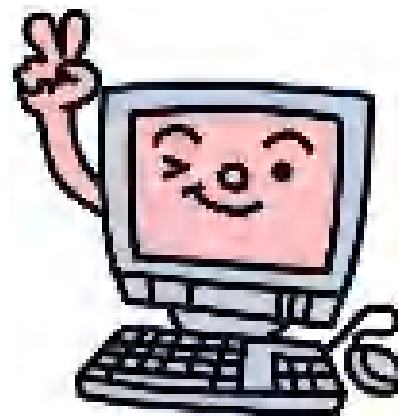
FAX:055-241-8660

MAIL: rihagodogakujutu@gmail.com

一般社団法人 山梨県作業療法士会のホームページも随時更新しています!

最新の研修会情報や、制度に関する情報など、役に立つ
情報を掲載していますので、ぜひアクセスしてみてください
さい。

<http://ot-yamanashi.org/>



倫理って何だろう？！

突然ですが・・・想像してみてください。

『あなたは訪問リハビリテーションの仕事をしています。あなたが担当していた利用者さんは高齢で寝たきりの男性です。ある日、献身的に介護をしていた妻が夫を殺害して自分も死のうとするという事件がおきました。』¹⁾

あなたはこの時何を考えますか？

自分にできることはなかったのか、夫の状態をもう少し改善できていたら、献身的な介護をする妻を励ますことが妻を追いつめてしまったのではないか、など様々なことが頭をよぎるのではないでしょうか。クライアントに寄り添い、共感的理解を示し、自分の持つ知識と技術で生活の改善を支援するこの仕事は、真剣に取り組めば取り組むほど、相手の反応が自分の中に刺さってきます。このような時、私達はその事実をどのように受け止め、どのように解釈して前に進めば良いのでしょうか。

そんなとき私達の力になってくれるのが『倫理学』です。

倫理学は、何が正しいのか、なぜそれが正しいのかを考える学問です。まず、私達自身の道徳や価値観を見つめ、家族や地域が何を大切にしてきたか、学校や職場では何を重視して何を守らなければならないのかを考えます。同時に、時と場所を越えて正しいこととして選び取られてきた倫理原理を学び、その原理と照らし合わせて自分の考えや判断がどのようなものなのか照合していきます。²⁾

前述のように人の生命にかかわる問題については『生命倫理学』の領域です。脳死判定、安楽死、尊厳死のための自殺帮助 etc.今、私達を取り囲む毎日の生活の中には、人の命について避けて通れない課題が沢山あります。それらには正解、不正解という結末はありません。それぞれのおかれた立場の中で、多くの異なる視点から意見を出し合い、多くの立場を想像し、新たな気づきを得て、私達の成長と仕事に活かしていくことが必要なのです。

私達の仕事は、課題を抱えた人に向き合うものなので、マニュアル通りにいくとは限りません。日々、思考と判断の繰り返しです。良き臨床家になるためには、バランス良くこの力を高めることが必要です。倫理について仲間と語ることは、きっと私達の力になります。職場で、そして県士会員の間で、思考を深めるきっかけ作りに倫理学を活用してみてください。



Kobayasi Sayaka

【引用文献】1)2) 吉川ひろみ：保健・医療職のための生命倫理ワークブック,三輪書店,2008年,V

タイの作業療法について

JICA シニア・ボランティア 渡辺 邦夫

「サワディー・クラブ」 タイでは、このあいさつがいつでも使えて便利です。

タイのチェンマイ大学医療技術学部作業療法学科に赴任して5ヶ月が過ぎました。今回は、タイと作業療法の様子をお伝えします。

1. タイの様子

タイは、人口約6,700万人(2014年、日本の半分ちょっと)面積51万平方キロメートル(日本の約1.4倍)の立憲君主制の国です。植民地化されることなく長く独立を保ってきた歴史があります。

タイでは5月22日に19回目の「軍事クーデター」が起きました。こうしたニュースを聞くと、とても混乱した危険な感じを受けるかもしれません。でもクーデターがしょっちゅう起きるので、タイの人たちは慣れっこ。仕事もふつうにするし、市民生活にほとんど支障はありません。そしてサッカーのワールドカップの開幕に合わせて、6月13日に全土で夜間外出禁止令が解除されました。

タイの人々は厳しい状況でも生活を楽しむことを忘れないし、家族や子供をととても大切にしています。



写真1：教育スタッフ

2. タイの作業療法について

タイの作業療法士は約800名、養成施設はチェンマイ大学(1980年学科開設)とマヒドン大学(2008年開設)の2校。両校合わせて毎年70名くらい卒業しています。ちなみに理学療法士数は約8,000名、養成施設16校です。理学療法士も作業療法士も主に都市部の病院に勤務し、地方にはとても少ないそうです。

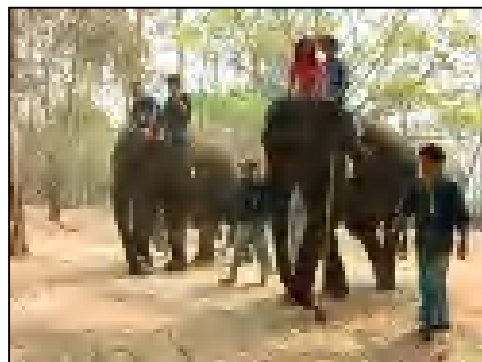


写真2：エレファント・アシステッド・セラピー

3. チェンマイ大学作業療法学科について

学科は、学士課程とともに修士課程、博士課程を併設し、附属のOTクリニックをもっています。

20名以上の先生方が身体障害、精神障害、発達障害、高齢期障害の4つの分野を分担し、教育、研究に従事しています。また、東南アジアの作業療法を引っ張っていくリーダー的な役割を果たしています。

研究の中でユニークなのは、「象」を使った「エレファント・アシステッド・セラピー」です。これは自閉症児などに対する「動物介在療法」の一種です。象がタイの

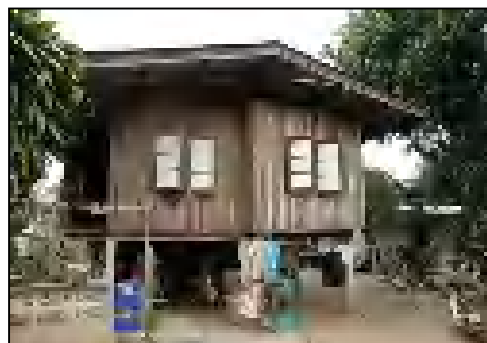


写真3：伝統的なタイの住居

人々の生活に溶け込み、多くの人々が象に対する特別な思いを抱いていることに根差しています。

選りすぐりの賢い象と「マフート」と呼ばれる象使い、獣医、象の保護施設などの協力のもとに、良く工夫されたプログラムになっています。

エサを上げる、象に乗る、ボール遊びをする、象の体を洗うなどの運動感覚的な作業だけでなく、象のエサを買う、ダンスをするといった対人交流や社会的活動などたくさんの作業が組み合わされています。こうした療養は自閉症児の自律性と社会性の向上などに効果があるようです。

この研究は現在も継続されており、タイならではの「動物介在療法」として注目されています。



写真 4：家庭訓練の指導

4. 活動について

こちらに来てから、実習施設や福祉施設をたくさん見学しています。入院期間が短いので、脳血管障害、頭部外傷などでは通院・通所・訪問で回復期のリハビリテーションを行う必要があります。

先日、重度の右片麻痺で寝たり起きたりの生活をしている方のお宅を訪問しました。家屋は伝統的な高床式の住居。奥さんはパートに出かけるので日中のケアが手薄になります。訪問をすると、暮らしぶりやニーズがだんだん分かってきます。身障担当の先生と一緒に起き上がりやシャツの着脱などを指導しました。

また、労災リハビリテーションセンターなどで当事者に参加してもらい、国際生活機能分類(ICF)を活用したワークショップなどを行っています。



写真 5：ICF を活用した当事者参加型のワークショップ

そろそろ誌面が尽きてきました。まだまだ不慣れなことばかりですが、タイでも暮らしを支える作業療法が普及するように教育スタッフとともに前に進んでいきたいと思っています。では「サワディー・クラブ」。

WELCOME NEW FACE!!

氏名	所属施設	氏名	所属施設
西川 真喜	石和共立病院	石原 光紘	甲府城南病院
秋山 弦也	石和共立病院	齋藤 茜	巨摩共立病院
溝口 和希子	石和共立病院	功刀 路子	巨摩共立病院
関 健太	石和共立病院	若尾 優一	白根徳州会病院
渡邊 祐大	石和共立病院	依田 なお	白根徳州会病院
古屋 和希	石和温泉病院	松木 太滝	白根徳州会病院
細川 俊亮	一宮温泉病院	上杉 亮祐	笛吹中央病院
中川 花	一宮温泉病院	桑原 亜耶	笛吹中央病院
小宮山 晴香	一宮温泉病院	上條 一恵	笛吹中央病院
安藤 秀竜	一宮温泉病院	秋山 繁	ツル虎ノ門外科・ リハビリテーション病院
武田 恵子	回生堂病院	依田 秀平	山梨県立中央病院
芹澤 香織	回生堂病院	久保田 美菜	山梨厚生病院
赤澤 梢	春日居サイバーナイフ・ リハビリ病院	相川 佳代	山梨赤十字病院
加賀美 咲妃	春日居サイバーナイフ・ リハビリ病院	飯島 有里	山梨リハビリテーション病院
山下 智愛	恵信甲府病院	菅野 信継	山梨リハビリテーション病院
中西 康祐	健康科学大学	沢田 尚司	山梨リハビリテーション病院
石田 昇也	甲州リハビリテーション病院	大久保 優希	山梨リハビリテーション病院
渡邊 里見	甲州リハビリテーション病院	細田 眞之介	湯村温泉病院
佐藤 有希子	甲州リハビリテーション病院	丸山 明子	湯村温泉病院
遠山 雅俊	甲州リハビリテーション病院	堀内 加奈	竜王リハビリテーション病院
武井 沙記	甲府共立病院		

(敬称略・順不同)

*この会員情報は、平成26年1月1日～平成26年6月末(締め切りの23日)までの事務局情報をもとに作成しています。

理事会便り

一般社団法人 山梨県作業療法士会

2013年度 第9回 理事会議事録

日時：平成26年1月20日(月)

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：廣田、古屋、三瀬、工藤、長坂、松田、
白木原、青木、有泉、佐藤、関谷、
磯野、川崎：13名

1. 事務局(三瀬)

<管理部>

1) 会員数497名
(平成26年1月20日現在)

2. 臨時委員会(磯野)

<災害対策準備委員会>

1) 災害リハビリテーションコーディネーター研修会

日時：平成25年12月21日(金)・
22日(土)

出席者：磯野弘司(春日居サイバーナイフ・
リハビリ病院)

一般社団法人 山梨県作業療法士会

2013年度 第10回 理事会議事録

日時：平成26年2月25日(火)

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、廣田、古屋、三瀬、工藤、松田、
青木、有泉、佐藤、関谷、磯野：
11名

1. 事務局(三瀬)

<管理部>

1) 会員数497名
(平成26年2月25日現在)

<福利厚生部>

1) 新年会

日時：平成26年1月23日(木)
会場：プライダルビレッジ ミラベル
参加者：133名

2. 学術局(佐藤・青木・有泉・白木原)

<学術大会運営部>

1) 第1回山梨県リハビリテーション専門職
合同学術大会運営会議開催

日時：平成26年1月30日(木)

<生涯教育部>

1) 第8回現職者共通研修「事例検討・事例
報告」は大雪により中止。

3. 常設委員会(関谷)

<倫理委員会>

1) 倫理に関するワークショップ

テーマ：4つの倫理原則を学ぶ

日時：平成26年2月4日(火)

会場：山梨県立図書館 交流ルーム

講師：中村雄氏(健康科学大学)

参加者：33名

<福祉用具委員会>

1) 福祉用具に関する座談会は大雪のため
中止。

<特別支援教育委員会>

1) ともしび福祉作業所のサポートを2回
実施。

一般社団法人 山梨県作業療法士会

2013年度 第11回 理事会議事録

日時：平成26年3月17日(月)

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、廣田、古屋、三瀬、工藤、長坂、
松田、白木原、青木、有泉、関谷、
磯野：12名

1. 副会長(廣田・古屋)

1) 平成26年3月7日(金) 健康科学大学卒
業式に廣田副会長出席

1) 平成26年3月14日(金) 山梨県福祉保
健部長寿社会課部会 廣田副会長参加

2. 事務局(三瀬和彦)

<管理部>

- 1) 会員数 492名
(平成26年3月17日現在)

3. 広報局(工藤)

<企画編集部>

- 1) 平成26年3月12日(水)に第85号広報ニュースを発送。

4. 臨時委員会(磯野)

<災害対策準備委員会>

- 1) 平成25年度 三士会合同災害対策準備委員会研修会
テーマ：災害時リハビリテーション
日時：平成26年3月6日(木)
会場：笛吹市スコレーセンター
講師：磯野弘司理事(春日居サイバーナ
イフ・リハビリ病院 作業療法士)
三井伸一氏(山梨県立中央病院
理学療法士)
赤池洋氏(山梨赤十字病院
言語聴覚士)

参加者：210名(PT：73名、OT：
93名、ST：43名)

一般社団法人 山梨県作業療法士会

2013年度 第12回 理事会議事録

日時：平成26年4月17日(木)

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、古屋、三瀬、工藤、長坂、松田、
白木原、有泉、佐藤、関谷、磯野：
11名

1. 事務局(三瀬)

<管理部>

- 1) 会員数 476名
(平成26年4月17日現在)

2. 学術局

<学術大会運営部(佐藤)>

- 1) 平成26年3月12日(水)に全体集会開催。

一般社団法人 山梨県作業療法士会

2013年度 第13回 理事会議事録

日時：平成26年5月22日(水)

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、廣田、古屋、三瀬、工藤、長坂、
松田、有泉、関谷、磯野、佐尾、渡辺、
濱田、米山、宮尾：15名

1. 事務局(三瀬)

<管理部>

- 1) 会員数 476名
(平成26年5月22日現在)

2. その他

1) 担当理事について

会長：山本伸一 会長

副会長：廣田真由美 副会長

古屋豊美 副会長

事務局：三瀬和彦 理事

広報局：工藤亮 理事

制度対策局：長坂真由美 理事

社会局：濱田一登志 理事(渉外部)

渡辺直美 理事(事業部)

学術局：佐尾健太郎 理事(企画研修部)

宮尾亮 理事(学術大会運営部)

有泉宏紀 理事(生涯教育部)

常設委員会：松田智子 理事

(倫理委員会・認知症対策推進
委員会)

関谷宏美 理事

(福祉用具委員会・特別支援教育
委員会)

米山敦 理事

(訪問リハビリテーション委員会
・生活行為向上マネジメント推進
委員会)

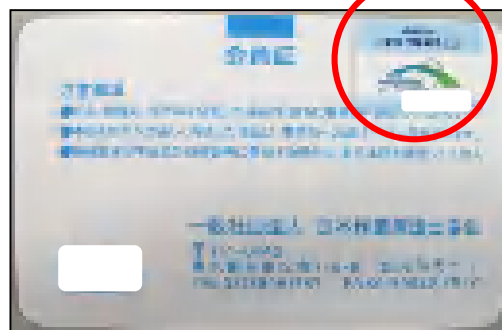
臨時委員会：磯野弘司 理事

特設委員会：磯野弘司 理事

一般社団法人 山梨県作業療法士会 会員シールの取り扱いについて

入会申請書及び会費の納入が確認された正会員に「会員シール」を発行しております。「会員シール」は、日本作業療法士協会会員証裏面に貼付（下記参照）し、士会主催の学会および研修会等に参加する場合は、必ず提示して下さい。

なお、「会員シール」の再発行は行っておりませんので、本証を紛失されないようご注意ください。



一般社団法人 山梨県作業療法士会会員手続きについて

入会について（会員の構成）

1. 正会員 一般社団法人日本作業療法士協会の正会員である者で、山梨県内に常勤または在住し、当法人の事業に賛同して入会した個人（作業療法士対象）
2. 賛助会員 当法人の目的に賛同し、事業を賛助するために入会した個人または団体
3. 名誉会員 当法人の事業に顕著な功勞のあったもの又は学識経験者

いずれも理事会での承認が必要となります。特に賛助会員に関しては、賛助内容を明確に提出して頂き、理事会にて検討させていただきます。詳細につきましては、一般社団法人山梨県作業療法士会定款「第二章 会員」をご覧ください。

会員手続きについて

各種申請書（入会申請書／登録変更届／休会・復会届／退会届）を当士会ホームページからダウンロードして頂き、事務局 管理部まで郵送またはFAXにてご連絡ください。特に、変更届については、変更があり次第ご連絡頂きますようお願いいたします。

連絡・送付先

一般社団法人 山梨県作業療法士会 事務局 管理部
〒400-0831 山梨県甲府市上町753-1
甲府城南病院 リハビリテーション部 作業療法科内
FAX：055-241-8660（代）
TEL：055-241-5811（代）

現代の医療・福祉・心理の専門分野が揃った

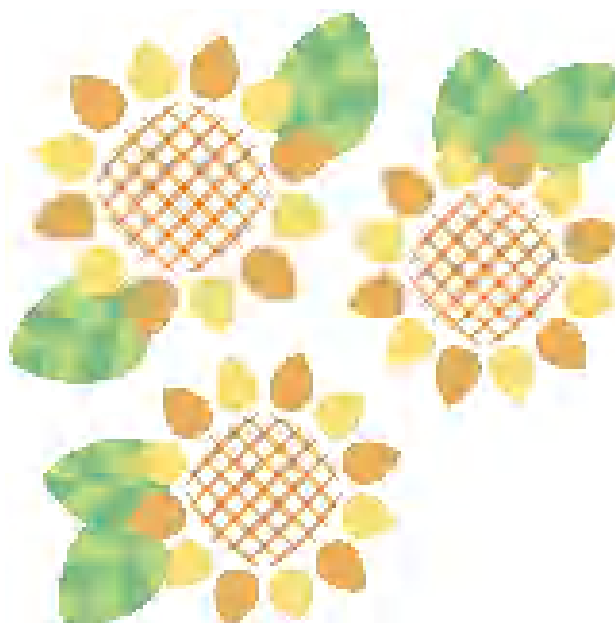


健康科学人学 10th
HEALTH SCIENCE UNIVERSITY 10th ANNIVERSARY

物理治療科 作業療法科 臨床心理科
理学療法科 看護学専攻科 臨床心理科

<http://www.kekkoudai.ac.jp>

TEL 055-276-1155



編集後記

今回、タイの作業療法を垣間見ることができました。取材とが行けたらいいなあ……(ふ)

去年登りそこねた富士山。今年は登れますように!(内)

鰻の値段が高い時期なので、今夏はうな丼を我慢して乗り切ります。(浅)

8月に僕の娘が産まれます!ほほおどしくなく髪の毛はクルクルでしょう!(クル泉)

いよいよ夏が来ました!!今年は何をしようかなあ~(つ)

今年の夏は、釣りや登山などでアクティブに過ごそうと計画中です (土)

今年ももう残り半分!ということで、今年は初の高尾山登山と、旅行に行きたいです (梶)

発行人:山本 伸一

編集人:工藤 亮・飯野 知一・角田 幸一・内藤 和也・藤原 浩宣・土屋 唯・梶原 由加里・今泉 隼・精進 智規・金田 勇一・浅川 良太

発行所:一般社団法人 山梨県作業療法士会 広報局 企画編集部

しらゆり訪問看護ステーション 〒400-0114 山梨県甲斐市万才287 TEL 055-276-1155

FAX 055-279-1262

印刷所:(株)島田プロセス 〒409-3867 山梨県中巨摩郡清水新居1534 TEL 055-233-8829